

国安の郷

宇和島市吉田ふれあい

時を越えて、今よみがえる――。

はるか時を越えて、
蘇った国安の郷。

ご利用案内

- 開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日／毎週火曜日及び年末年始は12月29日～1月3日
※但し、火曜日が国民の祝日にあたる場合は開館し、翌平日を休館とします。

●入館料／

大人(高校生以上)	200(160)円
高齢者(65歳以上)	160(160)円

[]は団体(20人以上)

備考:身体障害者手帳、療育手帳又は
精神障害者保健福祉手帳保持者
(介助が必要な場合は、介助者1名を含む。)=無料とする。

- 交通／JR宇和島駅より車で約20分
JR吉田駅より車で約5分
西予宇和ICより車で約20分
宇和島朝日ICより車で約20分

交通案内



宇和島市吉田ふれあい



〒799-3761 愛媛県宇和島市吉田町鶴間1503番地
TEL (0895) 52-4884 (FAX 兼用)

なつかしい暮らしの匂いと、
心に染みるあたたかさ。
時を越えて、
吉田の心がふれあいます。
美しい自然に恵まれた吉田町は、
躍動的な町へと変化を遂げまし
た。素朴な田舎町としての風情
と、商家や武家の洗練された文化
の香り。現在の吉田町の魅力の
ルーツを探りに、歴史探検してみ
ませんか。



●国安の郷の由来●

郷土吉田が発展した基盤であります御陣屋町。当時、立間川に人工の支流をつくり、これを河内川に接続、これを瀑として御陣屋と家中町を仕切ることとしました。この人造川を国安川と云います。この名には「国安かれ」という願いを込めて名付けられたと云われています。先人たちの「明日への希望」を継承しようと「吉田ふれあい国安の郷」と名付けました。

●マークの解説●

時代は移り変わろうとも吉田の自然の美しさは変わりません。その恵まれた自然をマーク部のグリーンで表現。そして、吉田町の優しく暖かい人情をレッドで表現しました。また日本の伝統模様である扇形のマークデザインは、御陣屋時代の建築洋式の一つであるなまこ壁をデフォルメしたもので、扇形内部の鋭角線は未来への希望と躍動を表しています。

表門



表門を一步入れれば、武家屋敷や商家をはじめ、いにしへの風情が鮮やかに蘇ります。

活気に満ちた
庶民の暮らしが香る。

明暦三年（一六五七）、宇和島藩より分知して吉田藩となった当地は、国安川沿いに御陣屋を築き、風格ある武家屋敷や豪壮な商家が建ち並び、御陣屋町を形成してまいりました。

「国安の郷」は、町内に現存する当時の代表的な建物を復元し、歴史ある家並みを再現しました。また昔ながらの農家や武家・商家の暮らしに触れるなど、タイムスリップ気分で過ぎし日の吉田の家並みを楽しみながらリアルに学ぶことができます。

武家屋敷



厳格で質素な暮らしぶりを
ものがたる武家屋敷



商家



安政六年（一八五九）建築の商家を移築復原。
豪壮な造りの商家に
往時の栄華が
目に浮かぶ



米蔵



吉田三万石の歴史資料を展示し、ギャラリーとしても活用。

お祭り広場



お祭り館では、華やかな「練車（ねりぐるま）」をはじめ、「鹿の子」「宝多（ほた）」など、吉田のお祭りの資料を展示。お祭り広場では数々の行事イベントが繰り広げられます。

農家

耕して天に至る段畑。当時の農家の生活や農具などを展示・紹介。昔の農家の生活様式を再現。



漁家

鯛の宝庫といわれた宇和海。江戸城中では鯛といえば、吉田三万石の代名詞であったという……。

